


第三国集団研修 事前調査団 報告書

— コスタ・リカ 生産性・品質向上 —

1997年8月

JICA LIBRARY

J 1140475 {3}

国際協力事業団
研修事業部

研 三
JR
97-23

第三国集団研修 事前調査団 報告書

—コスタ・リカ 生産性・品質向上—

1997年8月

国際協力事業団
研修事業部



1140475 (3)

序文

第三国研修とは、我が国が開発途上国に移転し、定着した技術を、当該国を通じて、そこに社会的、文化的、言語的に共通の基盤を持つ周辺の開発途上国からの研修員を受け入れ、より現地事情に適した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には実施国が独自に研修員受け入れ事業を実施できるようにすることを目的としている。

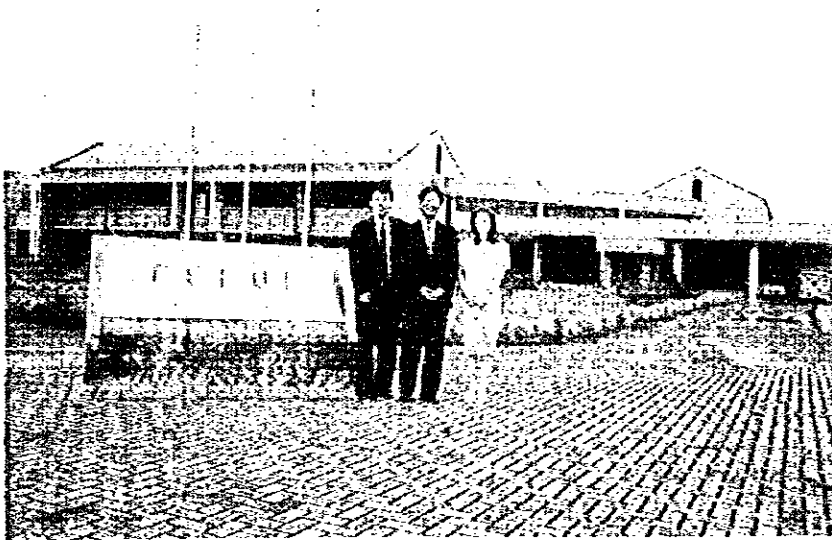
本報告書は、1997年度（平成9年度）にコスタ・リカ共和国から要請のあった第三国集団研修「生産性・品質向上」について、その実施可能性を総合的に調査するため、平成9年7月14日から7月24日まで国際協力事業団がコスタリカ・リカ共和国に派遣した事前調査団の調査結果を取りまとめたものである。

本報告書が関係各位のさらに深いご理解のもとに、本研修の今後のより良い展開に資することができることを願う。

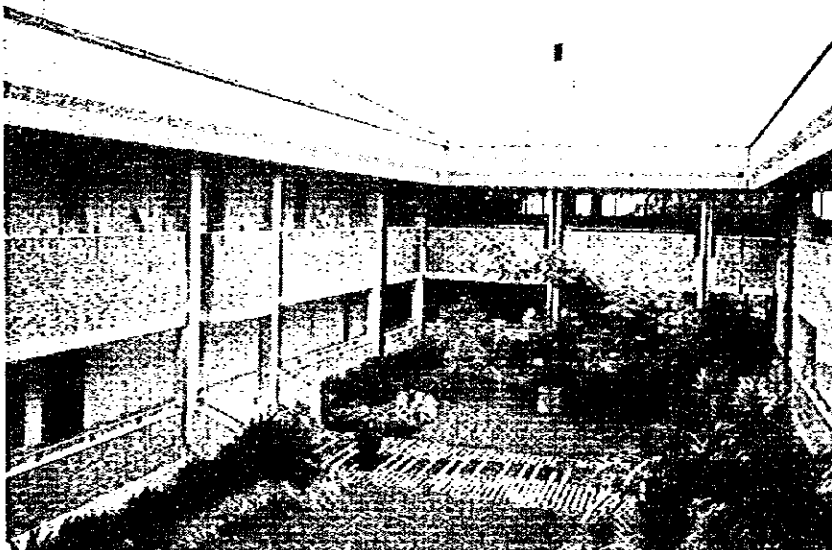
最後に本調査団の派遣に際し、ご協力を賜った外務省、在コスタ・リカ日本国大使館に深い謝意を示すものである。

平成9年8月

国際協力事業団
研修事業部長 森本 勝



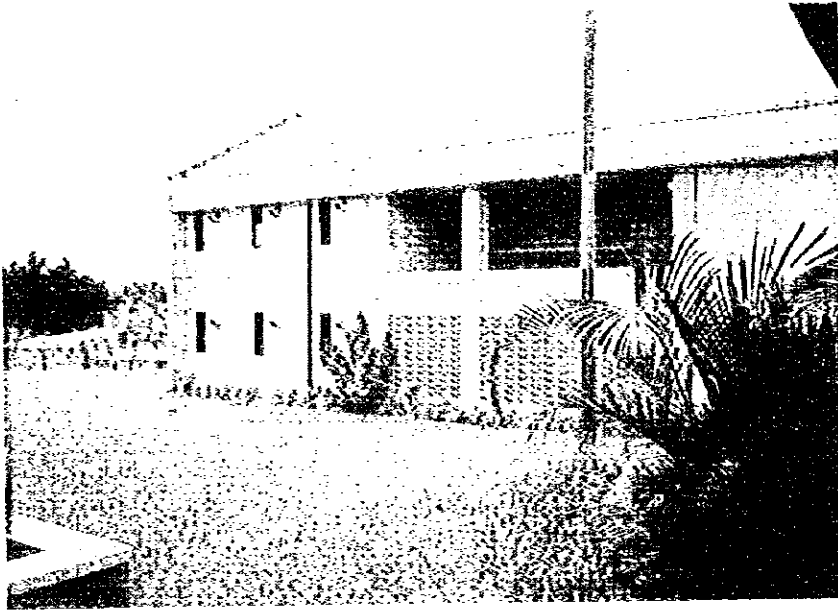
山口団長：中央
佐藤団員：左
森沢団員：右
中米域内産業技術
育成センター
(CEFOF) 前にて



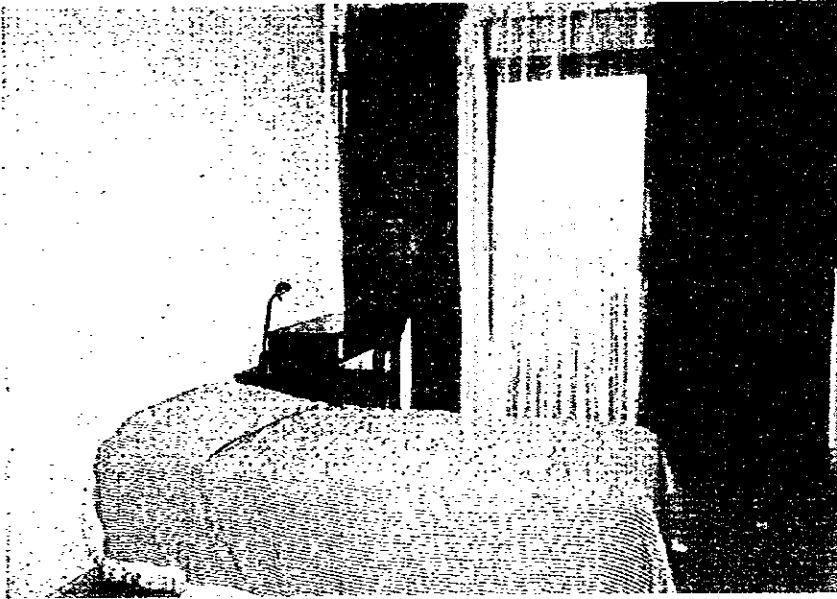
CEFOF内部



ミニッツ署名
山口団長：中央右
シバハ次官：中央左
CEFOF講堂にて



CEFOFドミトリー
外観

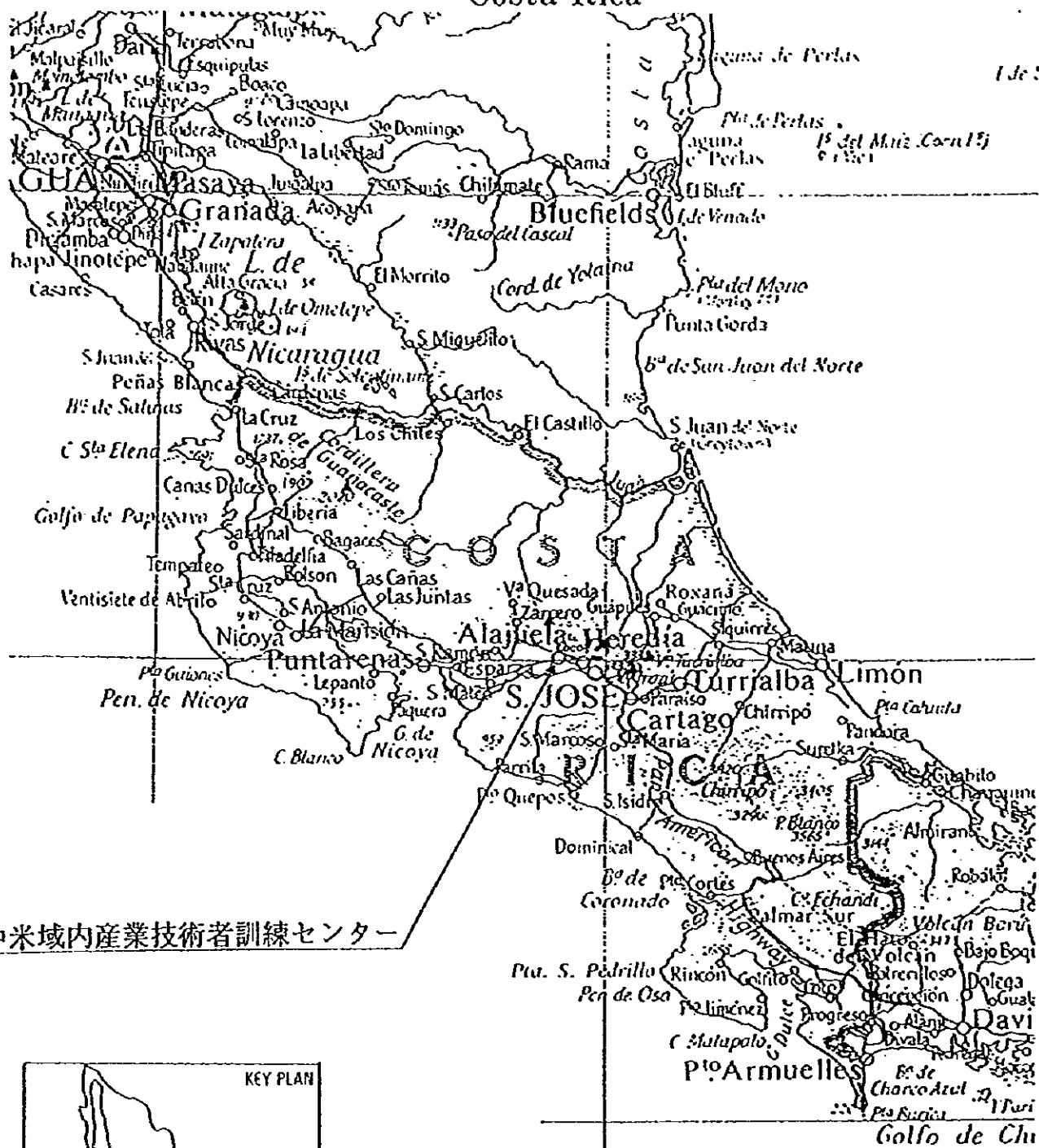


CEFOFドミトリー
内部

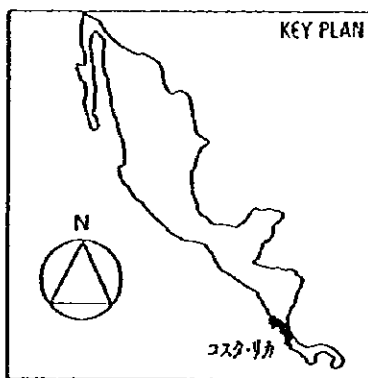


CEFOF食堂

Costa Rica



中米域内産業技術者訓練センター



0 50 100 150 200 250 300 350 400 Kilometres

目 次

1.	事前調査団の派遣	1
1-1	派遣の経緯と目的	1
1-2	団員構成	1
1-3	調査日程	2
1-4	主要面談者	3
2.	調査結果の要約（総括）	4
3.	域内研修ニーズ	5
4.	実施国の当該分野の現状	9
5.	コスタ・リカの実施体制	10
6.	予算措置	11
7.	実施機関の運営管理能力	12
8.	生活環境	14
9.	日本側技術協力の必要性	15
10.	研修計画	16
10-1	協力期間	16
10-2	コース名称	16
10-3	目的	16
10-4	到達目標	16
10-5	研修期間	16
10-6	カリキュラム	16
10-7	割り当て国	17
10-8	定員	17
10-9	資格要件	17
10-10	研修機関	17
10-11	応募方法	17
10-12	業務分担	17
10-13	経費関係事務手順	18
10-14	経費負担内訳	19
資料	1. ミニッツ	23
	2. CEFOFの研修コース開催実績	36
	3. 終了時評価にかかるアンケート集計結果	47
	4. カウンターパートリスト	50

1. 事前調査団の派遣

1-1 派遣の経緯と目的

1987年9月、倉成外務大臣（当時）がグアテマラを訪問した際、中米の和平と域内各国の発展・結束のために我が国の協力による中米人造り構想を表明した。その後、同構想にかかる各種調査団が派遣され、その結果を踏まえて、1989年5月及び7月にコスタリカ政府から中米域内産業技術育成計画にかかる無償資金協力及びプロジェクト方式技術協力の要請がそれぞれなされた。

現在、無償資金協力により建設された施設において、1992年9月から開始されたプロジェクト方式技術協力による技術移転の成果は着実に蓄積されてきており、1996年度末までには累計218コース（4,546名参加）の研修を実施しているが、そのほとんどがコスタ・リカ国内を対象としたものである。

こうした背景から、コスタ・リカ政府は、当初から期待されていた中米地域の研修員に生産性・品質向上の技術を修得させ、中米域内中小企業の競争力向上に資することを目的とした第三国集団研修の実施を我が国に要請越した。

本調査においては、以上の経緯を踏まえ、研修計画、人員・予算・組織等の実施体制の詳細について調査するとともに、我が方の対処方針に基づき先方政府と協議の上、協力方針案（R/D案）を策定し、ミニッツに取りまとめを行った。

1-2 団員構成

山口 三郎（団長・総括）	国際協力事業団 研修事業部 次長
佐藤 秋一（生産性・品質向上）	社会経済生産性本部 海外技術協力部 主任
藤沢 ひろみ（研修計画）	国際協力事業団 研修事業部 研修第二課 職員

1-3 調査日程

日順	月日 (曜)	活動
1	7月14日 (月)	17:20 東京発 (JL062) 11:15 ロス・アンジェルス着 23:10 ロス・アンジェルス発 (UA889)
2	15日 (火)	7:10 サン・ホセ着 10:30 在コスタ・リカ日本大使館表敬 13:00 経済商工科学技術省表敬 15:00 外務省表敬 16:00 JICA駐在員事務所訪問
3	16日 (水)	9:00~12:00 中米域内産業技術育成センター (CEFOF) 視察/協議 12:00~13:00 CEFOF主催昼食会 13:00~18:00 CEFOFとの協議
4	17日 (木)	9:00~18:00 CEFOFとの協議 18:00~20:00 CEFOF財団主催夕食会
5	18日 (金)	9:00~10:30 中米工業会議所連合/コスタ・リカ工 業会議所訪問 11:00~12:00 米州開発銀行訪問 ミニッツ案作成 18:00~20:00 CEFOFプロジェクト主催夕食会
6	19日 (土)	団内打ち合わせ
7	20日 (日)	団内打ち合わせ
8	21日 (月)	10:00~11:00 在コスタ・リカ日本大使館帰国報告 16:00~17:00 ミニッツ案確認 17:00~18:00 ミニッツ署名 18:30~20:30 調査団主催夕食会
9	22日 (火)	8:25 サン・ホセ発 (UA888) 14:47 ロス・アンジェルス着
10	23日 (水)	13:00 ロス・アンジェルス発 (JL061)
11	24日 (木)	16:15 東京着

1-4 主要面談者

(1) 日本側

秋本健志郎 在コスタリカ日本国大使
鮎川範幸 在コスタリカ日本国大使館顧問
岩崎晋 CEFOFプロジェクトリーダー
館光三 CEFOFプロジェクト調整員

(2) コスタリカ側

Mr. Eduardo Sibaja A. Vice-Minister, Ministry of Economy, Industry and
Commerce/Science, and Technology (MEICC)
Mr. Marco Chavez MEICC
Mr. Carelas Vice-Minister, Ministry of Foreign Affairs (MFA)
Mr. Segovia Director of International Cooperation, MFA
Mr. Alexis Arias Subdirector of International Cooperation, MFA
Ms. Mayi Antillon Guerra Exective Director, Costa Rica Industrial Chamber
Mr. Juan Ramon Rivera Second Vice-president, Costa Rica Industrial Chamber
Mr. Walter Lopez Director UATI, Costa Rica Industrial Chamber
Mr. Jorge Monje Director, CODETI CAINNET
Mr. Marco Anderson Executive Director, CEFOF
Ms. Betty Araya Academic Director, CEFOF
Mr. Gerardo Soto Administrative Director, CEFOF
Mr. Marcelo Meza V. Instructor, CEFOF (Representative of the CEFOF Foundation)

(3) その他

Mr. Emil Weinberg Representative in Costa Rica, Interamerican Development Bank
Mr. Tatsuji Hayakawa Jounior Professional, IDB

2. 調査結果の要約（総括）

本案件は調査団派遣の経緯と目的のところ述べてきた如くそもそも倉成外務大臣が中米グアテマラにおいて、ニカラグア、エルサルヴァドル等における内戦の終結をにらみつつ、疲弊した経済の再建のため我が国をして中米諸国に対し人材育成の観点からどのような分野に、またどのような形で協力が出来るか等の1987年の声明に端を発するものである。

その後、幾多にか亘る中米諸国に対する様々な人材育成のためのセミナーが本邦にて開催され、加えて種々の調査団が派遣された結果、中米域内に十分な波及効果が期待出来るとの判断のもと、無償資金協力対象国でないコスタ・リカに人材育成の拠点となる中米域内産業技術育成センターの誕生となった。

今回我々調査団は「コ」国滞在中、中米域内産業技術育成センターはもとより経済商工科学技術省、外務省、中米工業会議所（FECAICA）等を訪問し意見交換を行うとともに協議を重ねたが何れの部署においても、「コ」側は域内協力、第三国研修の意図するところを十分に理解しておりまた、我が国から移転された技術をいかに有効な形で面的な広がり結び付けることが可能であるかについて留意している点にあった。

当方から持参したドラフト（案）では「コ」国を除き6ヶ国18名を対象としていたが実施機関との一連の協議の中で先方の強い要請もあり結局「コ」側が研修経費の一部を負担することにより6ヶ国36名を対象とすることとした。

因にこの人数の割当に当たり我々としては研修員の確保について多少の不安がある旨、問題提起を行ったが、前述中米工業会議所（FECAICA）は域内各国と常にコンタクトを有しており、また3ヶ月に一度持ち回り理事会を開催しているところ適正なリクルートには何ら支障ないとのことである。

中米における「コ」国のリーダーシップと本件第三国研修に対する熱意には高いものがあり敬意を表わすとともに向こう5ヶ年間初期の目標が達成され成功裡に運営されることを心から望むものである。

3. 域内研修ニーズ

(1) 中米域内の生産性向上・産業競争力強化の流れと人材育成の必要性

中米では、1963年に軽工業の輸入代替化をめざして中米共同市場が創設されたが、小規模な域内市場での様々な限界、各国を襲ったいわゆる中米危機により、この試みは行き詰まった。

その後、1987年の中米和平協定では、経済開発、民主化促進、中米統合に三位一体で取り組む必要性が改めて認識され、1990年にはアメリカのブッシュ大統領による中南米経済支援構想が発表されるという流れの中で、1992年に自由貿易圏構想である中米経済統合（パナマ除く）が締結された。

これは、過去の中米共同市場とは違い、構造調整のもと各国で進んでいる自由貿易をベースとした世界市場向けの輸出をめざすものであり、輸出に耐える品質・生産性改善が必要とされていた。

このような流れの中で、日本政府とコスタリカ政府は、1992年9月より1997年8月までの5年間、JICAを通じて、「コスタリカを含む中米諸国の産業発展に役立つ人材育成を図るセンター（CEFOF）を設立し、センターが自主運営されるべく適切な技術をコスタリカ側カウンターパートに技術移転される」ことを目的として、中米域内産業技術育成のためのプロジェクトタイプ技術協力を実施し、生産・品質管理・データプロセッシング分野に焦点を当てた技術協力を実施してきた。

また、最近では社会主義国の崩壊等による世界的な市場競争の激化と、北米自由貿易協定（NAFTA）、南米共同市場（MERCOSUR）といった北と南の自由貿易市場の出現により、産業競争力強化と生産性向上の重要性が広く認識され、そのための人材育成が急務となっている。

(2) CEFOFの中米域内諸国への人材育成

CEFOFは、生産性・品質分野の普及・啓蒙と技術移転を中米域内諸国への人材育成の戦略の柱と考えており、データプロセッシング分野については、生産性・品質分野への活用という方向で進めたいと考えている。CEFOFで実施している中米域内の研修及び活動実績は下記の通りである。

1) 中米域内の研修実績

プロジェクトの進行状況に関してプロジェクト評価報告書によれば、96年度会計年度までで、合計218のコースが実施され、4546名の参加者が研修を受けたことになる。

(資料2 コース開催実績参照)

95年会計年度は下記の研修コースに、計84名が中米の近隣諸国の中小規模の各種団体・企業から参加した。

ア) 「マルチメディア」コース/データプロセッシング分野

開催時期：1995年7月/於：CEFOF（コスタリカ）

参加者：26名（ガテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ）

イ) 「5S生産性改善」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1995年7月/於：テグシガルバ（ホンジュラス）/講師2名派遣

参加者：16名（マネージャー及び上級幹部クラス）

ウ) 「競争力の鍵・生産性コース」/生産・品質管理分野

開催時期：1995年8月/於：CEFOF (コスタリカ)

参加者：42名 (ガテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、
パナマの代表者)

その他、1996年には下記の中米域内対象の研修コースが実施された。

ア) 「管理・監督者研修」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年9月/於：CEFOF (コスタリカ)

参加者：20人*2グループ (パナマ)

イ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：エル・サルヴァドル

参加者：35人 (エル・サルヴァドル)

ウ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：パナマ

参加者：35人 (パナマ)

エ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：グアテマラ

参加者：35人 (グアテマラ)

オ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：ホンデュラス

参加者：35人 (ホンデュラス)

カ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：ベリーズ

参加者：35人 (ベリーズ)

キ) 「5S (食品産業向け)」コース/生産・品質管理分野

開催時期：1996年10-11月/於：ニカラグア

参加者：35人 (ニカラグア)

2)中米域内のセミナー・会議等実績

またCEFOFは域内各国の会議・企業等にCEFOFの専門家を派遣し、講師及び共同の講師として、CEFOFで実施している研修及び技術の普及を行っている。主な実績は下記の通り。

ア) 「リエンジニアリング及び生産性・品質」/開催時期：1996年1月/於：パナマ議会

イ) 「総合品質」/開催時期：1996年2月/於：中米議会・エルサルバドル

ウ) 「革新、競争力、持続的発展の方策」/開催時期：1996年3月/於：コスタリカ

更に、下記の4つの地域会議がCEFOFにおいて開催された。

ア) FECAICA (中米商工会議所連盟) の第112回会議/開催時期：1995年1月

イ) 中米 (労働) 連帯評議会会議/開催時期：1996年2月

ウ) CIQAA主催、中米化学・加工食品産業に関するセミナー/開催時期：1995年8月

エ) SIECAと呼ばれる、中米経済統合の為の中米経済評議会公式会議

/開催時期：1995年9月

その他、ガテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、パナマ等への度重なる生産・品質管理及びデータプロセッシング分野におけるCEFOFの専門家派遣と調査・会議開催を実施している。

(3) 中米域内の人材育成アンケート調査

CEFOFプロジェクトの終了時評価の際、中米域内諸国より、CEFOF実施の研修セミナー等についてアンケートを実施した。(資料3 終了時評価にかかるアンケート集計結果参照)
アンケートによれば、CEFOFの研修・セミナーはその内容において有益かつ適切な技術レベルなものであり、指導方法も良いと参加者から高く評価されている。いずれの回答も自国の産業振興の有益なものであり、また企業活動がより有効に行えるような技術的支えになるものであるとの回答であった。また今後とも定期的開催やプログラム内容の強化を希望しており、研修・セミナー内容の高い評価と合わせこの分野の域内諸国の研修ニーズは高いものと推察される。

(4) FECAICA (中米商工会議所連盟) で実施している中米域内プロジェクト

FECAICAは中米域内諸国の産業団体・中小企業が加盟している団体であり、コスタリカにおいては加盟企業4,848社、会社設立と同時に強制加盟であり組織率は100%である。またFECAICA自身独自の研修プログラムを実施し、カナダ等他国との技術協力も行っている。
技術協力の例として、CAINSNET (Central American Industrial Support Network/中米産業サポートネットワーク、カナダ国際開発研究センター及びカナダ援助庁が資金援助)があり、中米各国での技術的支援を通じて中小企業の技術力を強化し、中米域内・外(特にカナダ)での製造業間のネットワーク化を促進することを目的としている。

CAINSNETの実施部隊であるCODETI (中米産業技術開発会社、本部コスタリカ)は、中米各国で産業界に対する技術支援ユニット(コスタリカのUATI、ガテマラのUTEPYMI、エルサルバドルのUNATI、ニカラグアのUNAPI、ホンジュラスは、97年5月よりCAINSNETの活動)を通じて、中小企業の競争力向上のための技術支援(現在までの実績は300企業)、SUDIACという中小企業診断を実施している。

一方、FECAICAは、中米経済統合事務局(SIECA)、中米経済統合銀行(BCIE)の協力により、「中米産業近代化アジェンダ」を作成し、各国経済大臣の承認後、IDB、ONUDI(国連工業開発機関)、CEPAL(ラテンアメリカ経済委員会)に資金援助の為提出している。この「中米産業近代化アジェンダ」では、資本の蓄積、資源の効率的配置、生産性、競争力、セクター別実行等が重要なテーマとして挙げられている。

(5) まとめ

以上のような中米域内におけるCEFOFの活動実績・経験や上記のアンケート調査結果を踏まえるとCEFOFの活動がコスタリカ国内及びパナマ、ベリーズを含む中米諸国に広く認知され、また評価されており、FECAICAの中米域内における当該分野の活動等も含め、この地域の多くの企業経営者が技術移転分野(生産性・品質向上)における人材育成の重要性を認識してきている。

しかし、CEFOFによれば、中米域内にはCEFOFの研修コースに興味を示し参加を希望する産業界の多くの団体及び企業があるが、その一方で中米域内の厳しい経済的・財政的制約条件があり、企業の大部分が従業員、100人以下の中小企業等の理由から、企業の自己負担でコスタリカのCEFOF研修に参加することが極めて難しい旨が指摘されている。

さらにこれら中小企業からニーズの多いものとして下記の研修項目がCEFOFから指摘されている。

(1)5Sコース

(4)QC7つ道具コース

(2)原価削減コース

(5)生産管理コース

(3)管理・監督者研修コース

(6)コンピュータネットワークコース

(6) 第三国研修の予想応募機関・企業等

CEFOFは第三国研修の実施にあたり、この中米各国のFECAICAのネットワークを通じて参加企業の募集等を実施する予定であり、予想応募企業はFECAICA加盟企業が中心となる予定。

4. 実施国の当該分野（生産性・品質）の現状

(1) 実施国の当該分野の開発計画等

94年～98年の国家開発計画において、高度な技術と高い生産性・競争力の向上を重要課題としてあげている。また、前述のCEFOFのプロジェクトタイプ技術協力においても、コスタリカ政府の一貫した支援を得ており、本センターの政策的位置づけは重要性を増してきている。

(2) 実施国の当該分野（生産性・品質）の現状（CEFOF, INA等）

外資系企業においては従業員1000人規模の大企業も存在するが、コスタリカの地元資本の企業は従業員100人程度かそれ以下の中小企業が大多数であり、生産性、品質管理等、企業の経営管理やいわゆる管理技術のレベルは概して低い。

コスタリカ国内には38の大学、工業高校80カ所、国立の職業訓練所（INA）が存在し、理論的研究・教育から職業訓練レベルまでの各々の目的に応じた教育が実施されているが、しかし企業経営の観点から見ると、企業経営者・管理者を対象とした実践的経営教育を実施している機関はCEFOF以外に少ない。その意味で産業技術育成、企業経営の近代化を目的とした実践的経営管理技術の啓蒙・普及、人材育成機関としてのCEFOFの果たす役割は大きい。

またINA等においても、CEFOFの教育活動、例えば5S等のプロジェクトの成果が高く評価されており、CEFOFから専門家を講師として派遣している。

データプロセッシング分野においては、パソコン等の企業への導入は進んでいるが、活用のレベルは低く、一部の企業を除き企業の生産・販売活動等に本格的にコンピュータを活用、導入してる例は少ない。また、コンピュータ教育についても、コンピュータの操作及びアプリケーション・ソフトの活用のレベルの留まっており、企業経営支援の為のシステム分析、開発等の教育を実施しているところは少ないのが現状である。

(3) 実施国の当該分野（生産性・品質）の研修ニーズアンケート調査

CEFOFプロジェクトの終了時評価の際、コスタリカ国内企業より、CEFOF実施の研修セミナー等についてアンケートを実施した。（資料3 終了時評価にかかるアンケート集計結果参照）アンケートによれば、CEFOFの研修・セミナーはその内容・技術レベル・指導方法等において有益かつ適切な技術レベルなものであり、指導方法も良いと参加者から高く評価されている。全社が受講後に何らかの効果があったことを認めているが、生産性向上に関連するコースの評価が高く特にパイロット企業として技術移転の現場実習に協力した企業が具体的な効果を認め高く評価している。

また、企業家自身に問題があるとの意見が多いが、生産性・品質の向上に経営者の意識改革が必要であり、その意味でCEFOFによる生産性向上運動の推進は重要である。またパイロット企業において適確なアドバイスにより生産性向上が可能なことは実証済みであり、CEFOFの工場診断、経営指導を求める意見も多い。また長期間の研修を求める要望が多いが、その理由はテーマ別に短期間の研修が多く全てを吸収するのが難しいといったことがある。さらに、産業振興の要因としては税制、融資制度等の制度上の問題よりも教育・訓練が重要と捕らえており、この面からもCEFOFの研修に対するニーズは大きいものと判断され、地域の中心的研修センターとしてのCEFOFの責任は重要であり、政府を含む関係者の支援とCEFOF自身の一層の努力が望まれる。

6. 予算措置

実施機関の年間予算規模は、プロジェクト開始以来年々着実に増加している他、研修参加費の収入も増えており、1997年は総額201.15百万コロン（約1億円）の予算規模となっている。

ただし、そのほとんどは職員給与ならびに電気代などの運営経費となっている。

CEFOF年間予算

(単位：百万コロン)

予算項目/年	1992	1993	1994	1995	1996	1997
職員給与	10.0	33.1	78.7	103.1	103.9	130.0
建物メンテナンス	0.6	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機材メンテナンス	2.7	5.3	3.5	0.9	3.4	6.0
電気/電話						
ガス/旅費等	3.3	23.2	26.8	13.3	24.2	34.7
合計	16.6	72.6	109.0	117.3	131.5	170.7

CEFOF研修参加費からの収入

(単位：百万コロン)

予算項目/年	1992	1993	1994	1995	1996	1997
	0	0.6	3.1	13.8	20.8	30.8

出典：中米域内産業技術者育成プロジェクト評価ミニッツ資料

一方、CEFOFの活動を支援・強化するために財団（FUDESPRO）が設立されており、FEDESPROが、国際機関などからの資金及び徴収した研修参加費を管理・運営している。

コスタ・リカの公的機関では、このようなシステムを取り入れることで、公的機関の会計処理に対する厳しく時間のかかる検査の対象外での活動を可能にしているが、CEFOFの場合も、FUDESPROの理事長はCEFOFカウンターパートが半年交代で努めており、財団理事会メンバーもCEFOF理事会メンバーと同じであり、実態上、CEFOF独自の「財布」的役割を果たしている。

本第三国研修の実施に際しては、外部講師謝金、現地備人費、カウンターパート給与、空港送迎費、交通費がCEFOF負担となっているが、カウンターパート給与を除くこれら経費もFEDESPROから支出されることになっているが、ここ数年は研修コース実施回数が飛躍的に伸び、1997年は30.8百コロン（約1,500万円）の収入がある予定であるので、負担分の支払いは問題ないと思われる。

(参考 FUDESPROの活動)

- ・情報工学分野のコース実施
- ・中米への5S研修普及
- ・情報関連企業とのジョイントベンチャー
- ・CEFOF職員が国内外の活動に参加するための資金支援
- ・CEFOFと共同での広報等
- ・中米からのSS活動研修参加者の資金的支援
- ・機器の提供（ポータブルコンピューター、アダプター、ソフトウェア 他）

7.実施機関の運営管理能力

3. 域内研修ニーズの項で述べたとおり、CEFOFは、1996年度には、合計114のコース(1,919人参加)を実施し、域内各国でも巡回セミナー(245人参加)を実施した。

また、中米からCEFOFに参加者が来て実施された研修コースもあり、今後もこれらの経験を通じて中米各国の研修ニーズを把握し、設立の目的である「中米諸国の産業発展に役立つ人材の育成を図るセンター」としてプロジェクトの成果を広めていきたいとしている。

一方、CEFOFは、以下の通り、先進国、国際機関等とのネットワークによる研修コースを実施しており、これら機関の資金的援助を受けての研修実績もある。

(IDB)

IDBは、コスタ・リカに対してPROGRESE (Programa de Excelencia y Superacion Empresarial 企業プログラム、1995年2月～1998年8月)を実施しており、1996年7月から12月の6ヵ月間では、17の研修コース(504名参加)が実施されたが、そのコースの49%がFECAICA (コスタ・リカ工業会議所、事務局はグアテマラ、中米5か国工業会議所会頭が理事会メンバーであり、1年毎に理事長を持ち回りする)で、51%がCEGESTIで実施された。そのうち、FECAICAと契約された中小企業向けのコースの一部が、CEFOFに委託、実施されている。

(ILO)

CEFOFでは、ILOの資金的協力により以下の2コースを実施しているが、その評価が高かったため、現在、1997年9月からの開始を目処に、中米をはじめキューバ、ハイティ、メキシコ、ドミニカ共和国の中小企業向けの研修計画を作成中である。

(中米以外の国を対象としているのは、コスタ・リカにあるILO事務所の管轄が中米、キューバ、ハイティ、メキシコ、パナマ、ドミニカ共和国であるから。)

- ・ 期間 : 1996年12月5～6日
- 場所 : ドミニカ共和国
- 対象者(定員) : Confederation of Industrial Managers
"COPARDOM"により招致された中小企業経営者(25名)
- 研修科目 : 生産性向上のための戦略

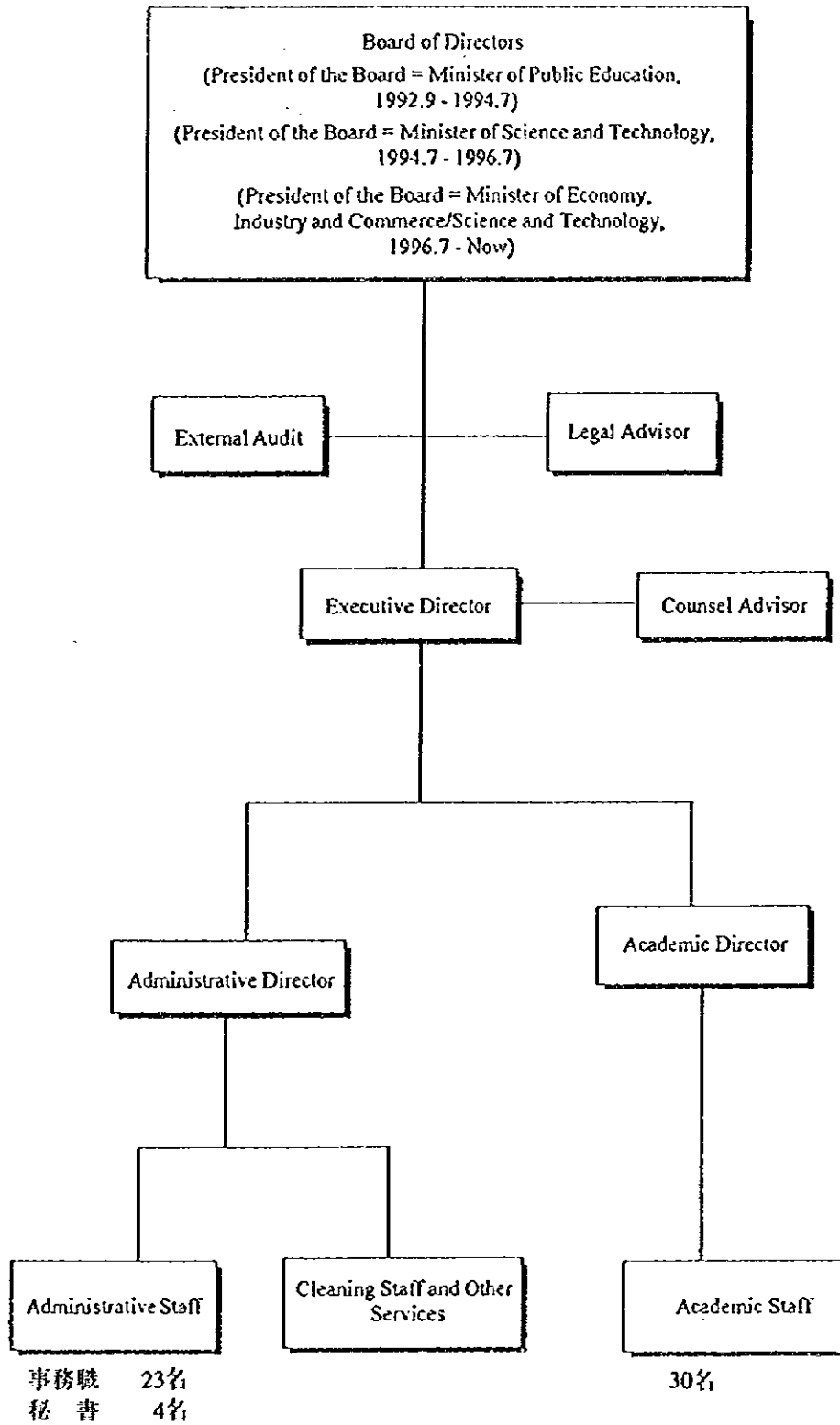
- ・ 期間 : 1997年4月28～29日
- 場所 : ニカラグア
- 対象者(定員) : High Council for the Private Enterprise" COSEP"
により招致された中小企業経営者(34名)
- 研修科目 : 生産性向上のための戦略

また、CEFOFの組織図及び職員数は以下のとおりであり、事務機器・通信機器もプロジェクト協力期間中に良く整備されており、問題ない。

(資料4 カウンターパートリスト参照。日本側及びコスタ・リカ側により整備された機材の詳細については、プロジェクト評価ミニッツAnnex 11-2,14参照。)

研修実施の責任者はCEFOFの所長であるが、研修員の選考等は、所長、総務担当副所長、学術担当副所長、他のコースと同様カウンターパートから選出されるコースリーダーにより運営されることになる。

ORGANIZATION CHART OF THE CENTER



8.生活環境

(1) 宿泊施設

CEFOFには、無償資金協力で建設された宿泊施設があり、18名の研修員が宿泊可能であり、ランドリー施設があり、研修員宿泊期間中は通常昼のみ営業している食堂も朝夜利用できる。料金は、一人一泊30ドル（パナマからの研修員も同額で利用した）となっている。

ただし、本第三国研修の定員は36名であるので、半分の18名はアラフエラ市のホテル（料金はおよそ一人一泊50ドル）に宿泊し、毎日、CEFOFの車両で送り向かえすることになる。

宿泊施設は、1室を除いて個室であるが、中に机、椅子、ベッド、作り付けのクローゼットがある簡素な作りなので、1週間でドミトリー組みとホテル組みを入れ替えるなどして、研修員から不平が出ないように配慮するとのことであった。

(2) 交通機関

CEFOFがあるアラフエラ市は、冒頭地図にあるとおり、サン・ホセから22～23Kmの空港近くにあるが、空港からの移動、ホテルからCEFOFへの移動はすべてCEFOF車両を提供するため、問題ない。

CEFOFは、5人乗りの乗用車3台、25人乗りのマイクロバス1台、9人乗りのバス1台がある。

(3) 生活用品の調達

CEFOFからアラフエラ市の商店街、大規模なショッピングモールに徒歩で行けるので、生活用品の調達には問題ない。

(4) 医療事情

研修員の保険加入はCEFOFが責任を持ち、またアラフエラ市の病院も近いので、問題ない。

9. 日本側技術協力の必要性

1) 第三国集団研修協力の必要性（テーマ、コース内容等）

世界的な市場競争の進展踏まえ中米域内においても、生産性向上と産業の競争力強化の重要性が広く認識されており、またその為の人材育成のニーズは強くなっている。一方で、CEFOFの活動は、中米域内で広く認知されており、またその研修内容も参加者より高く評価されている。このようなことから、CEFOFをカウンターパートとして、中米域内を対象とした第三国集団研修を日本側の協力で実施することは、中米域内の産業振興と競争力の強化の為に意義のあることであり、これまでの実績を踏まえ、CEFOFはその能力を有すると考えられる。研修テーマ・内容については、前述した中米域内諸国のニーズと生産性・品質向上を中心に中米域内展開を図りたいとするCEFOFの方針に沿って、設定することが適切である。

2) 日本人専門家派遣の必要性

第三国研修の研修テーマを「生産性・品質向上」として考えると、当該分野の講義に留まらず、工場実習等を行い、より実践的な研修内容にした方がより効果的である。第三国研修の講師として想定しているCEFOFのカウンターパートは、前述のプロジェクトタイプ技術協力により、当該領域において日本人専門家より、専門的な技術移転を受けてきているが、工場実習・診断等の経験が少なく、講義・セミナー等についての指導力は十分であるが、工場における指導の面においては不十分なところがある。したがって、この面での指導を補助する為、当該分野の日本人専門家を派遣することが必要である。

3) C/P研修の必要性

上記の通り、第三国研修実施のために、補助が必要な工場での指導は日本人専門家を派遣するのでこの為に日本においてC/P研修を実施する必要性は認められないが、5年間の協力期間中に必要であれば1名程度受け入れることが適当である。

10.研修計画

10-1 協力期間

1997年度から2001年度まで5年間

10-2 コース名称

(和) 生産性・品質向上

(英) International Training Course on Productivity and Quality Management

*要望調査表では英文名称にProductivity and Quality Controlが使われていたが、これは当該分野の中のひとつのトピックを指すことが多いため、一般的に当該分野を表わすProductivity and Quality Managementを用いることとした。

10-3 目的

中米諸国からの研修員に対し、生産性・品質向上分野の知識と実践力を向上させる機会を提供し、中米域内の中小企業の競争力向上に資する。

10-4 到達目標

コース終了時、研修生は、企業内及び当該領域における指導者として必要な以下の項目にかかる知識及び実践力について習得する。

- ・生産管理 (例 5S、原価低減、問題解決技法、スケジューリング、在庫管理等)
- ・品質管理 (例 品質向上、品質管理7つ道具、品質保証、検査の基本等)
- ・データ処理の活用法の紹介 (希望者のみ)

*要請内容に、基本的なトピックをいくつか追加するとともに、データ処理については希望者のみであることを明確にした。

10-5 研修期間

約2週間。1997年度は、11月10日から11月21日まで。

*上記研修にかかる工場実習と講義には最低2週間必要である。

また、企業向け研修としては長めだが、全研修コースに占める割合は少ないものの、CEFOFでは10日間程度の研修が近年増加する傾向にあり問題ないとのことであったので、要請方針通り2週間とした。

*日本人専門家派遣が可能な時期を考慮して、1997年度の実施時期を決定した。

10-6 カリキュラム

表のとおり。

*生産管理・品質管理の基礎知識習得のための各トピックについての講義と、それら知識の確認及び工場現場での適用について学ぶための工場視察を1セットとして、研修員の希望が強いものなど何トピックか取り上げて構成する。(日本人専門家が各トピック毎にコメントを付す。)

*講義は、研修科目1単位当たり、必要最小減の7時間で実施。

工場視察は、CEFOFのモデル工場を中心にして、グループに分かれて行う。

希望者に対するデータ処理は夜間実施する。

2泊3日の研修旅行を実施する。

10-7 割り当て国

ベリーズ、グアテマラ、エル・サルヴァドル、ホンデュラス、ニカラグア、パナマ

*実施機関設立の目的等から、中米諸国を割り当て国とする。

10-8 定員

割り当て国からの参加者は、合計で36名を超えないこと。
コスタ・リカからの参加者は、6名を超えないこと。

*コスタ・リカ側から定員増の強い希望があり、研修の実施（工場実習はグループに分かれて行う）、研修施設（ドミトリーとともに近くのホテルを利用可能）に問題が生じない方法を取ることが可能であることが確認され、研修経費についても一部をコスタ・リカ側負担とすることで一般的第三国研修の予算規模に収まったため、定員を増やした。

10-9 資格要件

- (1) 所定の手続きに従い、当該国政府により推薦された者
- (2) 現在、中小企業の生産過程における当該分野の指導者として活動しているか、将来的に活動が期待されている者
- (3) 当該分野において、3年以上経験がある者
- (4) 50歳以下の者
- (5) スペイン語が、会話、筆記ともに堪能な者
- (6) 受講に必要な健康状態（心身とも）にある者

*主な対象者を中小企業勤務者としているので、大卒の要件を満たす者は少ないと予想され、また、経験年数が満たされていれば研修内容の理解に問題無いとの判断から学歴要件はいれない。

10-10 研修機関

(和) 科学技術省 中米域内産業技術教育センター
(英) MINISTRY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY,
THE TECHNICAL INSTRUCTOR AND PERSONNEL TRAINING
CENTER FOR INDUSTRIAL DEVELOPMENT OF CENTRAL AMERICA

*実施体制（研修指導能力、研修運営能力）については、6.及び7.を参照。

10-11 応募方法

- (1) 割り当て国政府は応募者に代わり、外交チャンネルを通じて所定の応募書類を5部を、コース開始60日前までにコスタ・リカ政府に送付する。
- (2) コスタ・リカ政府は、外交チャンネルを通じて、選考結果をコース開始30日前までに割り当て国政府に通報する。

10-12 業務分担

コスタ・リカ政府

- (1) G.I.を、外交チャンネルを通じて、割り当て国政府に送付する。
- (2) 応募書類を受け取り、CEFOFに渡す。
- (3) 選考結果を、外交チャンネルを通じて、割り当て国政府に通報する。

CEFOF

- (1) R/Dカリキュラム案に基づいて、カリキュラムを作成する。

- (2) G.I.を作成、印刷する。
- (3) コース講師として十分な数／能力のスタッフを配置する。
- (4) 訓練施設／機材を提供する。
- (5) 研修員を選考し、結果をコスタ・リカ外務省及び日本国大使館に知らせる。
- (6) 研修員の宿泊施設を手配する。
- (7) 割り当て国からの研修員の航空チケットを手配するとともに、空港送迎を行う。
- (8) コースの一部として、研修旅行を手配する。
- (9) 日本国政府によってカバーされない経費にかかる予算措置をとる。
- (10) コース修了者に修了証書を出す。
- (11) コース終了後30日以内にコースレポートを日本国大使館に提出する。
- (12) コース終了後30日以内に経費精算を日本国大使館に提出する。(証拠書類は、CEFOFが保管し、日本国大使館からの要請があれば提出する。)
- (13) コースにかかるすべてを調整する。

日本国政府

- (1) 通常の技術協力スキームに従い、コースの運営及び講義の一部を担当する日本人短期専門家を派遣する。しかしながら、これはJICAの予算及び日本国内での適当な専門家の数による。
- (2) JICAを通じて以下の経費を負担する。(経費積算は、アネックス3の通り。)
 -割り当て国からの研修員にかかる国際線エコノミーノーマル料金航空賃、日当、宿泊、保険
 -CEFOFでの研修にかかる研修旅費、消耗品費、会議費、G.I.、印刷費、その他

10-13 経費関係事務手順

- (1) CEFOFは、JICAからの経費を受けるための銀行口座を開設し、日本国大使館に銀行名、口座番号、口座名義人を連絡する。
- (2) CEFOFは、コース開始60日前までに日本国政府が負担する経費の見積書を提出する。
- (3) JICAは、日本国大使館から送付された見積書を査定し、コース開始30日前までに、日本国大使館口座を通じて上記(1)の口座に、査定額を送金する。
- (4) CEFOFは、コース終了30日以内に、日本国大使館に精算報告を提出する。
- (5) CEFOFは、JICAに指示に従い、残額を日本国大使館口座を通じて、JICAに戻入する。航空賃、交通費、空港送迎費、日当、宿泊費、保険料は、他の用途に用いてはならない。
- (6) 日本国大使館またはJICAが(4)の内容を確認するため要請した場合、CEFOFは領収書、証拠書類を提出する。

*コスタ・リカの場合、従来は直接実施機関口座に送金していたが、今年度から大使館口座を通じての送金となったため、大使館の役割について明らかにした。

10-14 経費負担内訳

日本側負担（1997年度概算）

航空費	@360×36人	= 12,960
日当	@55×36人×14日	= 27,720
宿泊費(ドミトリ)	@30×18人×13泊	= 7,020
(ホテル)	@50×18人×13泊	= 11,700
保険料	@10×36人	= 180
研修旅費		
(交通費)	@60×45人	= 2,700
(日当)	@30×8人×3日	= 1,320
(宿泊費)	@30×8人×2泊	= 480
消耗品購入費		= 3,500
会議費（開閉講式）	@15×60人×2回	= 1,800
G.I印刷費	@10×150部	= 1,500
通信費		= 1,000
合 計		\$ 72,060

コスタ・リカ側負担

コスタ・リカ人研修員の受け入れ諸費
 外部講師謝金（主に工場視察の際の謝金）
 現地傭人費（秘書）
 カウンターパート給与
 空港送迎費
 交通費（ホテル-CEFOF）

*定員が増加したため、外部講師謝金、現地雇人費、空港送迎費、交通費についてはコスタ・リカ側の負担とした。

*各費目の必要性、積算基礎について精査した結果は以下のとおり。

- 航空賃 各国からコスタ・リカまでの航空賃見積りを旅行会社から取り寄せ、その平均を単価として採用した。
- 日当 コスタ・リカで実施中の他の第三国集団研修「麻薬犯罪防止」の単価を採用した。
- 宿泊費 ドミトリの場合は、CEFOFで設定してある単価を採用した。（単価表と、他の宿泊者の領収書で確認）
 ホテルの場合は、CEFOFの近くにあるEl Rodeoホテルの割引料金の見積書を参考に単価を設定した。
- 消耗品購入費 ミニッツ別添参照。（ビデオテープは、工場視察内容を録画したものを、ダビングして研修員全員に配付する。コピー、OHP用紙、フィルム、フロッピーディスク、トナーは、研修員に配付する教材及び修了証書作成用に必要。）
- 研修旅費 モンテベルデに2泊3日を実施する。
 研修員（コスタ・リカ人含む）、CEFOFから同行するカウンターパート2人、日本人専門家1人分のバス代。
 研修員（コスタ・リカ6人）、CEFOFから同行するカウンターパート2人の日当。
 研修員（コスタ・リカ6人）、CEFOFから同行するカウンターパート2人の宿泊代。
- G.I印刷費 各国に20～30部配付出来るよう150部印刷することとした。

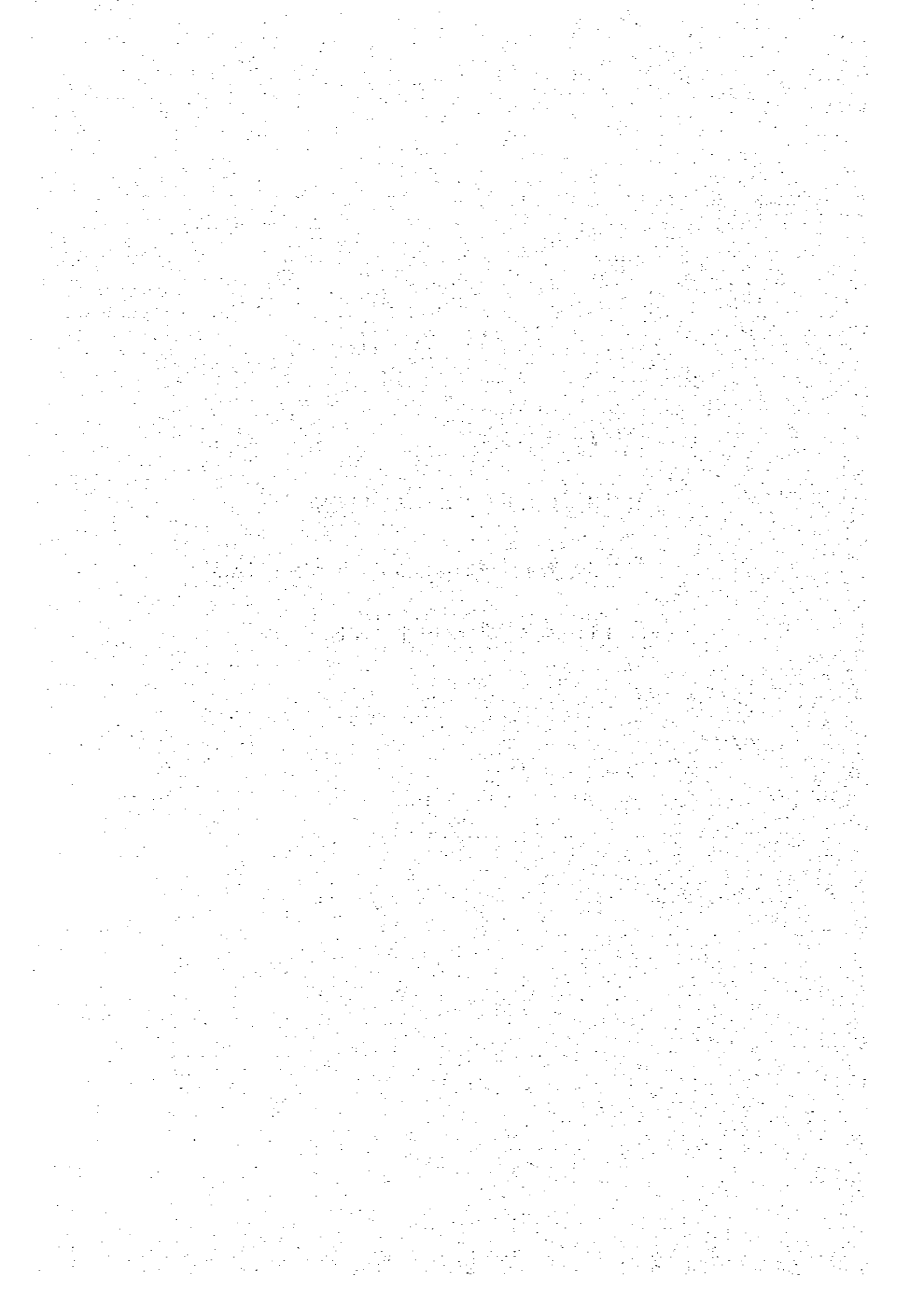
付 属 資 料

資料1. ミニッツ

資料2. CEFOFコース開催実績

資料3. 終了時評価に係るアンケート集計結果

資料4. カウンターパートリスト



THE MINUTES OF THE MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF COSTA RICA
ON THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAM

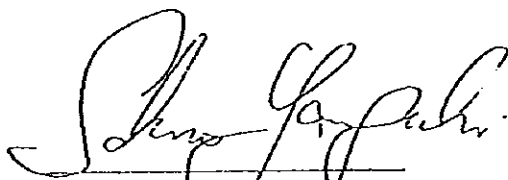
The Japanese preliminary survey team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Saburo Yamaguchi, visited the Republic of Costa Rica from July 15th to 22nd, 1997, in order to discuss with the authorities concerned of the Government of the Republic of Costa Rica (hereinafter referred to as "the Costa Rican Side") a training course for participants from Central American countries in the field of Productivity and Quality Management, considered for implementation in the Republic of Costa Rica under JICA's Third Country Training Program.

The Team held a series of meetings and exchanged opinions with the Costa Rican Side regarding the course, and came to share the view that the course will contribute to the improvement of the competitiveness of small and medium size companies of Central American countries.

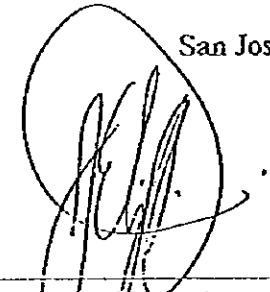
As a result of discussions, both sides drafted the Record of Discussions attached as APPENDIX 1, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made in order to ensure the successful implementation of the course.

A list of attendants at the meetings is attached as APPENDIX 2.

San Jose, July 21, 1997



Mr. Saburo Yamaguchi
Head of the Japanese
Preliminary Survey Team
JICA



Mr. Eduardo Sibaja A.
Vice-Minister of Science and Technology
Ministry of Economy, Industry,
Commerce, Science and Technology
The Republic of Costa Rica

(DRAFT)

THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
THE EMBASSY OF JAPAN IN THE REPUBLIC OF COSTA RICA
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF COSTA RICA
ON
THE THIRD COUNTRY TRAINING PROGRAM

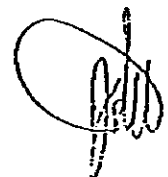
The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Saburo Yamaguchi, visited the Republic of Costa Rica from July 15th to 22th, 1997 and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Costa Rica with respect to the framework of a training course in the field of productivity and quality management under JICA's Third Country Training Program, and to the desirable measures to be taken by both Governments to ensure the successful implementation of the course.

Based on the above discussions, the Embassy of Japan in the Republic of Costa Rica (hereinafter referred to as "the Embassy of Japan") and the authorities concerned of the Government of the Republic of Costa Rica agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

San Jose, , 1997

Mr. Toshiyuki Suzuki
Councillor,
Embassy of Japan
The Republic of Costa Rica

Mr. Eduardo Sibaja A.
Vice-Minister of Science and Technology
Ministry of Economy, Industry,
Commerce, Science and Technology
The Republic of Costa Rica



ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of Costa Rica will cooperate with each other in organizing a training course in the field of productivity and quality management at the Technical Instructor and Personnel Training Center for Industrial Development of Central America in the Republic of Costa Rica (hereinafter referred to as "CEFOF") under JICA's Third Country Training Program.

The Government of the Republic of Costa Rica will conduct the course with the support of the technical cooperation scheme of the Government of Japan and the course will be held once a year from Japanese fiscal year (hereinafter referred to as "JFY") 1997 to JFY 2001, subject to annual consultations between both Governments.

The course will be conducted in accordance with the following:

1. TITLE

The course will be entitled "International Training Course on Productivity and Quality Management".

2. PURPOSE

The purpose of the course is to provide the participants from Central American countries with an opportunity to improve their knowledge and practical application in the field of productivity and quality management, and thus contribute to the improvement of competitiveness of small and medium size companies of Central American countries.

3. OBJECTIVES

At the end of the course, the participants are expected to have acquired the knowledge and practical application of :

3-1 Productivity Management (topics; Productivity awareness, 5S activities, Cost reduction and cost control systems, Problem solving techniques, Scheduling, Process and inventory control, etc.)

3-2 Quality Management (topics; Quality control techniques, QC 7 tools, Quality assurance, Basics of test systems, etc.)

3-3 Data Processing for Productivity (only for the person who are interested in).

4. DURATION

The duration of the Course will be approximately two (2) weeks and the course for JFY 1997 is planned to be held from the 10th. to the 21th. of November, 1997.

5. CURRICULUM

A unit for each topic of the course consists of seven (7) hours of lectures, the minimum time needed to obtain basic knowledge, and a factory observation to confirm the knowledge gained and to understand its application. The observation mainly in the model factories of CEFOF and the final presentation will be done by all participants divided into groups.

The tentative curriculum of the first course is attached as Annex 1.

6. INVITED COUNTRIES

The Governments of the following countries will be invited to apply for the course by nominating their applicant(s):

Belize, Guatemala, El Salvador, Honduras, Nicaragua, Panama.

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed thirty-six (36) in total. And the number of participants from the Republic of Costa Rica shall not exceed six (6).

8. QUALIFICATIONS FOR APPLICANTS

Applicants for the course are;

8-1 to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure stipulated in 10-1 below,

8-2 to be presently (or to be expected in the future to be) in charge of the improvement of productivity and quality management in the production processes of small and medium size companies,

8-3 to have more than three (3) years of practical experience in relevant field,

8-4 to be under fifty (50) years of age,

8-5 to have sufficient command of spoken and written Spanish,

8-6 to be in good health, both physically and mentally, in order to complete the course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

The course will be conducted mainly at CEFOF.

10. APPLICATION PROCEDURE

- 10-1 A Government applying for the course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Costa Rica through diplomatic channels not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
- 10-2 The Government of the Republic of Costa Rica will inform the applying Governments through its diplomatic channels, whether or not the applicant(s) is/are accepted to the course not later than thirty (30) days before the commencement of the course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF COSTA RICA

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country. The schedule of the first Course implementation is attached as Annex 2.

11-1 The Government of the Republic of Costa Rica

11-1-1 Ministry of Foreign Affairs

- (1) To forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of invited countries through its diplomatic channels,
- (2) To receive application forms and forward them to CEFOF,
- (3) To notify the results of the selection of participants to the respective Governments through its diplomatic channels.

11-1-2 CEFOF

- (1) To formulate the curriculum based on ANNEX 1,
- (2) To draft and print the G.I.,
- (3) To assign an adequate number of its staff as lecturers / instructors for the course,
- (4) To provide its training facilities and equipment for the course,
- (5) To select participants for the course and notify the Ministry of Foreign Affairs of the Republic of Costa Rica and the Embassy of Japan of the results,
- (6) To arrange accommodations for participants,
- (7) To arrange international air tickets for the participants from invited countries and to meet and see them off at the airport,
- (8) To arrange domestic study tour(s) as a part of the course,
- (9) To take budgetary measures to cover the cost of conducting the course, excluding the expenses financed by the Government of Japan,
- (10) To issue certificates to the participants who have successfully completed the course,
- (11) To submit a course report to the Embassy of Japan within thirty (30) days after the termination of the course,
- (12) To submit a statement of expenditures within thirty (30) days after the termination of the course (CEFOF keeps the receipts and other documentary evidence and submits

them if the Embassy of Japan requests to verify the expenditures stated above).
(13) To coordinate any matters related to the course.

11-2 The Government of Japan

(1) To dispatch Japanese short-term expert(s), in accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, who will give advice on the course management and deliver some of the lectures. This, however, is subject to the JICA budget available for this purpose and to the number of suitable expert (s) in Japan.
CEFOF is expected to inform the Embassy of Japan the requests for JICA short-term expert(s) not later than the annual consultation.

(2) To bear the following expenses through JICA (a tentative estimate of expenses for the first course is attached as ANNEX 3.)

a) Expenses relevant to participants from invited countries such as international economy-class air fare, accommodations, per-diem and medical insurance premiums.

b) Expenses relevant to CEFOF such as domestic tour, expendable supplies, meeting expenses, G.I. printing and others.

12. PROCEDURE FOR REMITTANCE AND EXPENDITURE

Remittance of funds for expenses to be borne by the Government of Japan and the expenditure thereof will be arranged in accordance with the following procedures:

12-1 CEFOF will open a bank account in the Republic of Costa Rica to receive the funds remitted by JICA, and inform the Embassy of Japan the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.

12-2 CEFOF will submit to the Embassy of Japan a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate submitted by the Embassy of Japan and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above through the account of the Embassy of Japan within thirty (30) days after the receipt of the bill of estimate.

12-4 CEFOF will submit to the Embassy a statement of expenditures within thirty (30) days after the termination of the course.

12-5 In case there is any unspent remainder of the amount remitted by JICA, CEFOF will reimburse the unspent amount to JICA through the account of the Embassy of Japan in accordance with the instructions given by JICA. The funds allocated for the air fare, transportation to and from the airport, accommodations, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 When requested by the Embassy of Japan and/or JICA, CEFOF will make available for their reference all the receipts and other documentary evidence necessary to verify the expenditures stated in 12-4 above.

13. OTHER

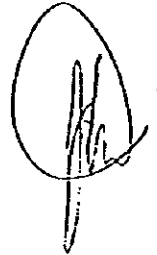
This attached document and the following Annexes attached hereto shall be deemed to be part of the Record of Discussions:

ANNEX 1 : Tentative Curriculum of the Course

ANNEX 2 : Schedule of Course Implementation (for JFY 1997)

ANNEX 3 : Tentative Estimate of Expenses to be borne by the Government of Japan
(for JFY 1997)

ANNEX 4 : Expenses to be borne by the Government of Costa Rica (CEFOF)

A handwritten signature is enclosed within a hand-drawn circle. The signature itself is stylized and difficult to decipher, but it appears to consist of several vertical strokes and a horizontal line at the bottom.

f

Tentative curriculum for the first course

Annex 1.

	First Week					Second Week					
	1st day (Mon.)	2nd day (Tue.)	3rd day (Wed.)	4th day (Thu.)	5th day (Fri.)	6-7th day (Sat.-Sun.)	8th day (Mon.)	9th day (Tue.)	10th day (Wed.)	11th day (Thu.)	12th day (Fri.)
Opening Ceremony			Topic 1 (Factory Observation)				Topic 3 (Factory Observation)	Topic 4 (Lecture)		Topic 5 (Factory Observation)	
8 : 00 ~ 12 : 00 (4hrs.)	General Orientation	Topic 1 (Lecture)	Comment of topic 1 by Japanese expert	Topic 2 (Lecture)	Topic 3 (Lecture)	Domestic Tour	Comment of topic 3 by Japanese expert	Topic 4 (Lecture)	Topic 5 (Lecture)	Comment of topic 5 by Japanese expert	Preparation for Final Presentation
12 : 00 ~ 13 : 30	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch		Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
13 : 30 ~ 16 : 30 (3hrs.)	Productivity Management (by Japanese expert)	Topic 1 (Lecture)	Topic 2 (Lecture)	Topic 2 (Factory Observation)	Topic 3 (Lecture)		Topic 4 (Lecture)	Topic 4 (Factory Observation)	Topic 5 (Lecture)	Q & A	Final Presentation
16 : 30 ~ 17 : 30	Welcome Party	Data Processing for Productivity (Only for persons who are interested)		Departure to domestic tour			Data Processing for Productivity (Only for persons who are interested)			Final Discussion	Evaluation Closing Ceremony

* Every year five (5) topics will be chosen from among the following in order to meet the demands of the participants.

1 Topics in the field of Productivity Management; Productivity Awareness, 5S activities, Cost reduction and cost control systems, Problem solving Process and inventory control, etc.

2 Topics in the field of Quality Management; Quality control techniques, QC 7 tools, Quality assurance, Basics of test systems, etc.

* A unit for each topic of the course consists of seven (7) hours of lectures, the minimum time needed to obtain basic knowledge, and a factory observation to confirm the knowledge gained and to understand its application. The observation mainly in the model factories of CEFOF and the final presentation will be done by all participants divided into groups. The comment delivered by Japanese expert will last 15 minutes at most.

ANNEX 2

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION FOR JFY 1997

MONTH	COSTARICAN SIDE	JAPANESE SIDE
August, 1997	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G. I. 3. Submission of Form A-1 for Short-term Expert (s) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions
September, 1997	<ol style="list-style-type: none"> 1. Distribution of G. I. and Application Form 2. Opening of Bank Account 3. Submission of Bill of Estimate 	
October, 1997	<ol style="list-style-type: none"> 1. Receipt of Application Form 2. Selection and Notification of the Participants 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Recruitment of Short-term Expert (s) 2. Submission of Form B-1 for Short-term Expert(s) 3. Remittance of Expenses
November, 1997	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of the Course 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of Short-term Expert(s)
December, 1997	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report 	

6

Q

ANNEX 3

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES
TO BE BORN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN (FOR JFY 1997)

SUBJECT	ESTIMATE	US\$
I. INVITATION EXPENSES (SUBTOTAL)		(59,760)
1. AIR FARE	@360*36 people	12,960
3. PER DIEM	@55*36*14 days	27,720
4. ACCOMODATION DOMITORY OF CEFOF	@30*18*13nights	7,020
HOTEL	@50*18*13nights	11,700
5. MEDICAL INSURANCE	@10*36	360
II. TRAINING EXPENSES (SUBTOTAL)		(12,300)
1. TRANSPOTATION(DOMESTIC STUDY TOUR)		
1-1. BUS FARE BETWEEN CEFOF AND MONTEVERDE FOR ALL PARTICIPANTS, TWO COUNTERPARTS, ONE JAPANESE EXPERT	@60*45 people	2,700
1-2. PER-DIEM FOR PARTICIPANTS FROM COSTA RICA, TWO COUNTERPARTS	@55*8people*3days	1,320
1-3. ACCOMODATIONFOR PRTICIPANTS FROM COSTA RICA, TWO COUNTERPARTS	@30*8*2nights	480
2. EXPENDABLE SUPPLIES	See next page	3,500
3. MEETING EXPENSES	@15*60 people*2 times	1,800
4. GI PRINTING	@10*150 copies	1,500
5. OTHER (COMMUNICATION)		1,000
TOTAL		72,060

Article	Quantity	Unit Cost	Total
1. Video Tape	42	1035	43.470.00
2. Fotocopies	20.000	10.00	200.000.00
3. Transparencies	25	7.390.00	184.750.00
4. Films	42	1.559.40	65.494.80
5. Folder	21	5.500.00	115.500.00
6. Disquettes	1 box	49.900.00	49.900.00
7. Printer Toner (Lexmark model 4029)	3	56.200.00	168.600.00
			827.714.80
			\$3.500.00

ANNEX 4

EXPENSES TO BE BORN BY THE GOVERNMENT OF COSTA RICA (CEFOF)

INVITATION FOR THE PARTICIPANTS FROM COSTA RICA
HONORARIA FOR EXTERNAL LECTURES
LOCAL EMPLOYMENT FEE (SECRETARY)
SALARY OF COUNTERPARTS
TRANSPORTATION FROM/TO AIRPORT-CEFOF
DAILY TRANSPORTATION HOTEL-CEFOF

do

MEMBER LIST

JAPANESE SIDE

Preliminary Survey Team

Mr. Saburo Yamaguchi	Leader
Mr. Shuichi Sato	Member
Ms. Hironi Fujisawa	Member

Embassy of Japan

Mr. Noriyuki Ayukawa	Adviser
----------------------	---------

CEFOF Project

Mr. Susumu Iwasaki	Chief Advisor
Mr. Kozo Date	Coordinator

COSTA RICA SIDE

CEFOF

Mr. Marco Anderson	Executive Director
Ms. Beuy Araya	Academic Director
Mr. Gerardo Soto	Administrative Director

Ministry of Economy, Industry and Commerce/Science, and Technology (MEICC)

Mr. Marco Chavez	
------------------	--

Ministry of Foreign Affairs

Mr. Alexis Arias	Subdirector of International Cooperation
------------------	--

資料2. CEFOFコース開催実績

LIST OF TRAINING COURSES AND SEMINARS

	N° of Courses and Seminars	N° of Participants
① JFY 92	0	0
② JFY 93	7	285
③ JFY 94	33	975
④ JFY 95	64	1367
⑤ JFY 96	114	1919
TOTAL	218	4546



**COURSES AND SEMINARS
HELD DURING THE FISCAL YEAR 1992
(April '92 - March '93)**

N°	COURSE AND SEMINAR TITLE	DATE	DURATION HOURS	N° OF PARTICIPANTS
<i>PQ Courses: Production Management and Quality Management Area</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
<i>LAB Courses: Laboratories Area</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
<i>DP Courses: Data Processing Area</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
<i>Special Courses</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
TOTAL: 0		TOTAL:	0	0

Note:

PQ: Productivity and Quality Development

LAB: Laboratories (Food Processing, Textile and Apparel Industry and Industries in General)

DP: Data Processing




**COURSES AND SEMINARS
HELD DURING THE FISCAL YEAR 1993
(April '93 - March '94)**

N°	COURSE AND SEMINAR TITLE	DATE	DURATION HOURS	N° OF PARTICIPANTS
<i>PQ Courses: Production Management and Quality Management Area</i>				
1	On Japanese Way of Business Mgmt	93.9.2	—	130
2	Application of Japanese Style Mgmt to Costa Rica	93.10.20	—	64
3	Total Quality Control	93.12.6 - 93.12.7	—	15
Subtotal: 3		Subtotal:	NR	209
<i>LAB Courses: Laboratories Area</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
<i>DP Courses: Data Processing Area</i>				
1	On Future of Data Processing	93.11.3	—	51
2	Multimedia	93.11.23 - 93.11.25	—	6
3	Multimedia	93.11.29 - 93.12.1	—	9
4	Multimedia	93.12.2 - 93.12.3	—	10
Subtotal: 4		Subtotal:	NR	76
<i>Special Courses</i>				
0	0	0	0	0
Subtotal: 0		Subtotal:	0	0
TOTAL: 7		TOTAL:	NR	285

Note:

PQ: Productivity and Quality Development

LAB: Laboratories (Food Processing, Textile and Apparel Industry and Industries in General)

DP: Data Processing

NR: No Record

**COURSES AND SEMINARS
HELD DURING THE FISCAL YEAR 1994
(April '94 - March '95)**

Nº	COURSE AND SEMINAR TITLE	DATE	DURATION HOURS	Nº OF PARTICIPANTS
<i>PQ Courses: Production Management and Quality Management Area</i>				
1	TQC (Middle Management)	94.4.4 - 94.4.8	5	12
2	Production Management by Computer	94.6.23	1	101
3	TQC (Supervisor)	94.9.5 - 94.9.19	10	20
4	5S	94.9.14	1	65
5	5S	94.9.23	1	128
6	TQC (Supervisor)	94.10.3 - 94.10.24	15	11
7	Just in time	94.10.19	1	119
8	TQC (Supervisor)	94.11.7 - 94.11.25	15	14
9	Effective Tools for Quality Control Activity	94.12.7	1	66
10	5S (Request by 3 companies)	95.1.7	1	8
11	Cost Reduction in Production Process (Top Management)	95.1.10	1	9
12	5S (Request by 3 companies)	95.1.13 - 94.1.14	2	17
13	Supervisors Training Program	95.1.17 - 94.2.17	28	24
14	Cost Reduction in Production Process (Middle Management)	95.1.18 - 94.1.20	3	7
15	5S (Request by 3 companies)	95.1.20 - 94.1.21	2	13
16	Cost Reduction in Production Process (Top Management)	95.2.1	1	10
17	Cost Reduction in Production Process (Middle Management)	95.2.8 - 94.2.10	3	20
18	Mental Innovation	95.2.24	1	78
19	Supervisors Training Program	95.3.6 - 94.3.17	19	10
Subtotal: 19		Subtotal:	110	631
<i>LAB Courses: Laboratories Area</i>				
1	Technical Basic of Laboratory	95.3.29 - 95.3.31	3	8
Subtotal: 1		Subtotal:	3	8

<i>DP Courses: Data Processing Area</i>				
1	E30: PC System	94.4.4 - 94.4.15	9	18
2	E40: Fundamental of Program	94.4.25 - 94.5.6	10	9
3	E51: C Language Programming	94.5.16 - 94.5.27	10	16
4	E53: Multimedia	94.7.4 - 94.7.8	5	10
5	E53: Multimedia	94.7.11 - 94.7.15	5	10
6	E53: Multimedia	94.7.18 - 94.7.22	5	10
7	P10: Microsoft Windows	94.10.24 - 94.10.28	5	19
8	P20: Microsoft Word Windows	94.11.14 - 94.11.18	5	20
9	E52: Visual Basic Introduction	94.11.24 - 94.11.25	2	17
10	UNDX Today & Tomorrow	94.11.29	1	63
11	E20: Network and LAN	95.3.6 - 95.3.10	5	20
12	E30: PC System	95.3.27 - 95.3.31	9	20
Subtotal: 12		Subtotal:	12	333
<i>Special Courses</i>				
1	Production Control Using PCs	95.3.1 - 95.3.6	6	3
Subtotal: 1		Subtotal:	6	3
TOTAL: 33		TOTAL:	191	975

Note:

PQ: Productivity and Quality Development

LAB: Laboratories (Food Processing, Textile and Apparel Industry and Industries in General)

DP: Data Processing

<i>LAB Courses: Laboratories Area</i>			
Basic Techniques of Lab.	95.3.29 - 95.4.7	24	11
Textile Inspection and Testing Techniques	95.5.2 - 95.5.5	20	13
Textile Inspection and Testing Techniques	95.6.7 - 95.6.10	20	9
Textile Inspection and Testing Techniques	95.7.3 - 95.7.5	24	16
Basic Techniques of Lab.	95.7.5 - 95.7.20	32	12
Dimensional Metrology for Industrial Inspection	95.11.13 - 95.11.16	16	11
Subtotal: 6	Total:	136	72
<i>DP Courses: Data Processing Area</i>			
Technological Updating	95.4.17 - 95.4.18	4	12
Microsoft Windows	95.4.22 - 95.5.13	20	20
Visual Basic 3.0	95.4.24 - 95.4.28	17.5	18
Microsoft Windows	95.5.8 - 95.5.12	20	19
Microsoft Word for Windows	95.5.15 - 95.5.19	20	19
Multimedia	95.5.22 - 95.5.26	18	11
MS-Excel	95.5.27 - 95.6.17	20	20
MS-Excel	95.5.29 - 95.6.8	20	19
Microsoft Windows 3.1	95.6.5 - 95.6.9	20	5
Microsoft Word for Windows	95.6.19 - 95.6.23	20	4
Excel	95.7.3 - 95.7.7	20	5
Multimedia for Central Americans	95.7.10 - 95.7.14	30	26
Microsoft Word for Windows	95.7.22 - 95.8.19	20	20
Novell 4	95.8.21 - 95.8.25	17.5	10
TCP/IP	95.9.11 - 95.9.14	14	15
Multimedia for non DP Professionals	95.10.2 - 95.10.6	17.5	10
Multimedia for non DP Professionals	95.10.16 - 95.10.20	17.5	10
Novell 4 User	95.10.23 - 95.10.27	17.5	9
Microsoft Windows	95.11.27 - 95.11.30	18	6
Fox Pro	95.11.27 - 95.12.1	20	9
Microsoft Word for Windows	95.12.4 - 95.12.7	18	5
Excel	95.12.11 - 95.12.14	20	10
Multimedia for non DP Professionals	96.1.22 - 96.1.26	20	8
Database Workshop	96.2.26 - 96.2.29	12	8
Database Workshop	96.1.29 - 96.2.2	12	10
Visual Basic (Advanced)	96.3.11 - 96.3.15	20	6
Subtotal: 26	Total:	473.5	316


<i>Special Courses</i>			
Productivity: key of Competitiveness to Central American Managers	95.8.7 - 95.8.11	3	42
PROMAPRI	95.8.7 - 95.8.11	20	14
Subtotal: 2	Total	23	56
Total: 64 courses	TOTAL:	1,046.5	1357

Note:

PQ: Productivity and Quality Development

LAB: Laboratories (Food Processing, Textile and Apparel Industry and Industries in General)

DP: Data Processing




**COURSES AND SEMINARS
HELD DURING THE FISCAL YEAR 1996
(April '96 - March '97)**

N°	COURSE AND SEMINAR TITLE	DATE	DURATION HOURS	N° OF PARTICIPANTS
<i>PQ Courses: Production Management and Quality Management Area</i>				
1	5S (Top Mgmt)	96.4.17 - 96.4.18	8	11
2	5S (Middle Mgmt)	96.4.24 - 96.4.25	8	26
3	Produc. Sched. and Process Control	96.4.29 - 96.5.03	16	16
4	QC 7 Tools	96.5.06 - 96.5.17	40	13
5	5S (Top Mgmt)	96.5.09	8	12
6	5S (Internal Training)	96.5.10 - 96.5.13	8	7
7	5S (Middle Mgmt)	96.5.15 - 96.5.16	8	20
8	Supervisory Training Program	96.5.20 - 96.5.31	32	29
9	Supervisory Training Program	96.6.03 - 96.6.27	32	24
10	Cost Reduction in Produc. Process	96.6.19 - 96.6.20	16	19
11	Material Planning & Invent. Control	96.6.24 - 96.6.27	16	24
12	IE Workshop	96.7.08 - 96.7.12	20	26
13	QC 7 Tools	96.7.08 - 96.7.19	40	12
14	Supervisory Training Program	96.7.29 - 96.8.8	32	20
15	Value Added & Product Measurem.	96.8.19 - 96.8.23	20	11
16	Production Scheduling & Process Control	96.8.27 - 96.8.30	16	21
17	Supervisory Training Program (Panama-Group N° 1)	96.9.2 - 96.9.12	32	20
18	Supervisory Training Program (Panama-Group N° 2)	96.9.2 - 96.9.12	32	20
19	Supervisory Training Program	96.9.6 - 96.9.28	32	21
20	Material Planning & Invent. Control	96.10.1 - 96.10.4	16	15
21	5S (Top Mgmt-Motorola)	96.10.2	8	25
22	5S (Middle Mgmt-Motorola)	96.10.3	8	25
23	Problem Solving Techniques	96.10.7 - 96.10.11	32	26
24	5S (Top Mgmt-EACSA)	96.10.11 - 96.10.12	8	20
25	5S (To Food Industries - Costa Rica)	96.10.21 - 96.10.25	40	35
26	5S (Middle Mgmt-EACSA)	96.10.24 - 96.10.25	8	15
27	5S (Middle Mgmt-INA)	96.10.28	8	12
28	5S (To Food Industries - El Salvador)	96.10.28 - 96.11.7	40	35
29	5S (Middle Mgmt-INA)	96.11.1	8	20

30	5S (Middle Mgmt-MEIC)	96.11.1	3	35
31	5S (To Food Industries - Panama)	96.11.6 - 96.11.15	40	35
32	5S (Middle Mgmt)	96.11.8	3	39
33	IE course	96.11.18 - 96.11.22	20	26
34	5S (To Food Industries - Guatemala)	96.11.25 - 96.12.4	40	35
35	5S (To Food Industries - Honduras)	96.12.2 - 96.12.10	40	35
36	Strategy for Produc. Improvement	96.12.5	10	25
37	5S Teamwork and Quality	96.12.6	1	30
38	5S (To Food Industries - Belize)	96.12.9 - 96.12.13	40	35
39	5S (To Food Industries - Nicaragua)	97.1.13 - 97.1.17	40	35
40	Value Added & Product Measurem.	97.1.16 - 97.1.18	20	12
41	Supervisory Training Program	97.1.25 - 97.2.1	12	24
42	Industrial Engineering Workshop	97.2.17 - 97.2.21	20	12
43	Supervisory Training Program	97.2.15 - 97.2.22	12	24
44	Total Productivity Maintenance	97.3.17 - 97.3.20	16	25
Subtotal: 44		Subtotal:	909	1007
LAB Courses: Laboratories Area				
45	Mechanical Destructive Tests Techniques	96.5.28 - 96.5.31	16	12
46	Inspection and Textile Tests Techniques	96.6.24 - 96.6.28	20	17
47	Food Basic Techniques	96.7.2 - 96.7.11	32	9
48	Textile Inspection course	96.9.16 - 96.9.19	20	9
49	Lab. Basic Techniques	96.10.14 - 96.10.23	32	8
50	Technical Mechanical Drawing (AutoCAD)	96.10.28 - 96.11.1	20	7
51	Lab. Basic Techniques	96.11.4 - 96.11.13	32	12
52	Lab. Basic Techniques	97.1.27 - 97.2.5	32	7
Subtotal: 8		Subtotal:	204	81
DP Courses: Data Processing Area				
53	Acces 2.0 (A42)	96.4.29 - 96.5.3	16	9
54	C for Unix (E40)	96.5.20 - 96.5.31	35	11
55	Introduction to PC Technology (E10)	96.5.30	3 1/2	22
56	Introduction to PC Technology (E10)	96.6.13	3 1/2	23
57	Introduction to PC Technology (E10)	96.6.20	3 1/2	18
58	Introduction to PC Technology (E10)	96.6.27	3 1/2	22
59	Novell 4 for Users (E20)	96.6.24 - 96.6.28	20	12
60	Windows (P10)	96.7.01 - 96.7.05	17 1/2	17
61	Word 6.0 (P20)	96.7.08 - 96.7.12	17 1/2	11
62	Word 6.0 (P20)	96.7.08 - 96.7.12	17 1/2	17
63	Excel 5.0 (P30)	96.7.15 - 96.7.19	17 1/2	19
64	Excel 5.0 (P30)	96.7.15 - 96.7.19	17 1/2	6
65	Power Point 4.0 (P35)	96.7.22 - 96.7.26	17 1/2	15

66	Introduction to PC Technology (E10)	96.8.8	3 1/2	16
67	Multimedia for non DP Professionals (E52)	96.8.12 - 96.8.16	20	11
68	Introduction to PC Technology (E10)	96.8.22	3	28
69	Introduction to PC Technology (E10)	96.8.29	3	22
70	Novell 4 Administrator (E30)	96.8.19 - 96.8.23	20	13
71	Novell 4 Administrator (E30)	96.9.2 - 96.9.6	20	8
72	Introduction to PC Technology (E10)	96.9.5	3 1/2	20
73	Windows (P10)	96.9.30 - 96.10.4	20	10
74	Word (P20)	96.10.7 - 96.10.11	20	10
75	Excel 2.0 (P30)	96.10.14 - 96.10.18	20	10
76	Access 2.0 (A42)	96.10.14 - 96.10.18	20	10
77	Visual Basic I (E51)	96.10.21 - 96.10.25	20	8
78	Windows (P10)	96.11.4 - 96.11.8	20	10
79	Data Base Analysis Design (S11)	96.11.4 - 96.11.8	20	10
80	Visual Basic II (A30)	96.11.4 - 96.11.8	20	7
81	Data Base Analysis Design (S11)	96.11.11 - 96.11.15	20	8
82	Access Intermediate (A45)	96.11.11 - 96.11.15	20	7
83	Word (P20)	96.11.18 - 96.11.22	20	12
84	Excel (P30)	96.11.25 - 96.11.29	20	10
85	Novell 4 (E30)	96.11.25 - 96.12.3	40	14
86	Windows (P10)	96.12.5 - 96.12.9	20	20
87	Word (P20)	96.12.9 - 96.12.11	20	20
88	Multimedia Application Develop. (S21)	96.12.9 - 96.12.13	20	10
89	Novell 4 (E30)	96.12.9 - 96.12.17	40	12
90	Excel (P30)	96.12.12 - 96.12.16	20	20
91	Power Point (P35)	96.12.16 - 96.12.18	20	20
92	Access (A42)	96.12.18 - 96.12.19	16	8
93	Windows (P10)	97.1.7 - 97.1.9	20	10
94	Word 6.0 (P20)	97.1.9 - 97.1.13	20	10
95	Excel 5.0 (P30)	97.1.14 - 97.1.16	20	10
96	Windows (P10)	97.1.13 - 97.1.17	20	10
97	Windows (P10)	97.1.13 - 97.1.17	20	11
98	Word 6.0 (P20)	97.1.20 - 97.1.24	20	10
99	Word (P20)	97.1.20 - 97.1.24	20	11
100	Excel 5.0 (P30)	97.1.27 - 97.1.31	20	10
101	Excel 5.0 (P30)	97.1.27 - 97.1.31	20	11
102	Windows (P10)	97.2.10 - 97.2.14	20	16
103	Windows (P10 - 95)	97.2.10 - 97.2.14	20	8
104	Oracle Browser (A43)	97.2.4 - 97.2.5	8	10
105	Oracle Browser (A43)	97.2.17 - 97.2.18	8	10
106	Word (P20)	97.2.17 - 97.2.21	20	16
107	Excel (P30)	97.2.24 - 97.2.28	20	16
108	Windows (P10)	97.3.3 - 97.3.7	20	15

109	Multimedia Application Develop. (S21)	97.3.3 - 97.3.7	20	9
110	Word (P20)	97.3.10 - 97.3.14	20	16
111	Excell (P30)	97.3.17 - 97.3.21	20	16
112	NT Nets 4.0 (S32)	97.3.17 - 97.3.21	20	11
Subtotal: 54		Subtotal:	1059	783
<i>Special Courses</i>				
113	5S Activities (CEFOF Experience)	96.4.12	4	28
114	Statistical Process Control (ONNUM)	96.5.3	4	20
Subtotal: 2		Subtotal:	8	48
TOTAL: 114		TOTAL:	2180	1919

Note:

PQ: Productivity and Quality Development

LAB: Laboratories (Food Processing, Textile and Apparel Industry and Industries in General)

DP: Data Processing

資料3. 終了時評価に係るアンケート集計結果

I. 中米諸国へのアンケート

1. CEFOFでは昨年10月から本年1月にかけて中米地域7ヶ国に対し講師を派遣し第1回の生産性向上のセミナーを実施した。各国ともに研修時間は8時間で1ヶ国につき5社から35名が参加している。現在第2回目を実施中で6月から第3回目に入る予定である。今回この国別のセミナーに参加している各社に対してアンケートを実施した。時間の余裕がなく期限内に以下の6社から回答を得た。

Guatemala	Procesadora de Mariscos del Sur	(A社)
El Salvador	Veralmar S. A. de C. V.	(B社)
Nicaragua	Laboratorio Nacional de Residuos Biológicos	(C社)
Nicaragua	Laboratorio Solka	(D社)
Panama	Tropical de Alimentos S. A.	(E社)
Belize	Running W Brand Meats	(F社)

2. 質問と回答

(1) 質問 : CEFOFが実施したセミナーは貴国の産業振興に有益か。その理由。

回答 : YES 6 NO 0

理由 : B社「セミナーの内容が企業活動がより有効に行えるよう技術的な支えになるものであった」。他に記述回答なし。

(2) 質問 : セミナーの内容および技術水準は貴国の産業の現状にとって適切か。その理由。

回答 : YES 6 NO 0

理由 : B社「我が国の産業は過去の悪条件にも拘らずある程度の水準に達している。CEFOFのプログラムはこの水準を一層高めようというものである」。他に記述回答なし。

(3) 質問 : CEFOFが貴国で同様のセミナーを開催することを希望するか。その理由。

回答 : YES 6 NO 0

理由 : B社「プログラムの内容を定期的に強化する必要がある。同時にその過程で技術転換の実現が可能となる」。他に記述回答なし。

(4) 質問 : 今後開催されるセミナーに対する要望事項。

回答 : B社「4-5ヶ月の間隔で少なくとも年2回の開催を希望する」

C社「毎年開催して欲しい」

D社「品質重視の文化をいかに育成するかのプロモーション」

E社「HACCP技術の確立」

F社「HACCEP、ISO 9000、GMP」

II. コスタ・リカ国内企業へのアンケート

1. 回答企業

企業名	業種	資本	従業員数	参加コース
1. Fideo Precicidos de Costa Rica S. A.	食品	内資	200	A, P
2. Casa Provedora Phillips S. A.	食品	内資	250	B
3. Manufacturera de Cartago S. A.	縫製	外資	1,948	A, B
4. Bticino Costa Rica	電気部品	外資	240	A, B
5. Cortek Internacional S. A.	電気部品	外資	370	A, B
6. Diseños y Construcciones Termoelectricas S. A.	機械	内資	25	A
7. Envases Comeca S. A.	金属加工	内資	400	A, B, P
8. Mutual Alajuela	金融	内資	252	B, P

(参加コース A = 生産性分野、B = 情報処理分野、P = パイロット企業)

2. 回答集計結果：

質問事項	回答数				
コースの評価					
内容	非常に有益		参考になった		あまり役に立たない
	7		1		0
技術レベル	高すぎる		丁度良い		低すぎる
	0		8		0
指導方法	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
	3	5	0	0	0
期間	長すぎる		丁度良い		短すぎる
	0		7		1
効果	非常に効果があった		少しあった		なかった
	4		4		0
追加研修希望	必ず		できれば		なし
	6		2		0
コース開催を何で知ったか					
CEFOF からの案内		3			
CEFOF からの案内と新聞報道		3			
CEFOF からの案内と業界団体		1			
業界団体		1			

今後参加希望する研修のテーマ		
<p>1. Total productive maintenance. Human resources. Process control.</p> <p>3. Total productive maintenance. Continuous improvement. Group work. How to gain empowerment. Technical knowledge for material evaluation (yarn, cloth). Window 97 + MS Office 97</p> <p>4. Quality assurance methodology, tools, statistics. Supervisor training program.</p> <p>6. Motivation. Managerial training.</p> <p>7. T.P.M.</p> <p>8. Language. Informatization. Client service.</p>		
受講後社内で改良された点		
<p>1. 著しい変化と改良がえられた。すなわち、労働者の勤務態度と意欲が変わった。これは「改善」とTQCにつながるものである。</p> <p>2. 計算部門の能力が向上した。</p> <p>3. 明らかに向上した。研修参加自体が活性化となった。研修参加者の視野が広がった。5Sの効果があった。</p> <p>4. 職場の整理、清掃が良くなった。</p> <p>5. 社内に CEFOF の研修コース受講者によるチームを編成し、問題解決と改善に当たる体制とした。</p> <p>6. 社内の風通しが良くなった。</p> <p>7. 企業活動の核となる人物全てが研修を受け、その効果は変革を成功させる決定的なものであった。</p> <p>8. 研修参加者全ての執務が改善された。また、情報化と顧客サービスシステムを導入した。</p>		
今後 CEFOF に希望する機能 (複数回答)		
長期間の研修コース	工場診断、経営指導	試験・分析サービス
5	6	4
コスタ・リカの産業振興の問題点 (複数回答)		
1. 労働者のモラルが低い。初等教育の改善が必要。	3	
2. 労働者の技術が低い。職業教育の改善が必要。	4	
3. 優れた技術者の確保が困難。高等教育の改善が必要。	3	
4. 労働法が労働者側に有利である。見直しが必要。	0	
5. 公的融資制度が十分でない。	2	
6. 企業に不利な税制の見直しが必要。	2	
7. 規格、検査制度の確立が必要。	4	
8. 信用できるラボラトリーや検査機関がない。	2	
9. 外資導入策を強化すべき。	3	
10. 企業家自身の努力が足りない。	3	

資料4. カウンターパートリスト

ANNEX 13

(As of April, 1991)

LIST OF COSTA RICAN COUNTERPART

Occupation	Name	Age	Academic Career	'92.8	'93.1	6 '94.1	6 '95.1	6 '96.1	6 '97.1	9
Director General	Julio Sanchez Campos	50	National University	8/3			X1/2			
	Marco Anderson	37	Technical University				1/2 3/24-4/7			
Administrative Director	Gerardo Soto Zuniga	37	National University	9/16	2/7-2/20					
Academic Director	Betty Araya Chaves	42	Costa Rica University	1/4	11/25-12/24					11/5-12/6
Instructor	Oliman Munoz Cespedes	47	"	9/16						
	Gilbert Ramirez Chavarria	29	Michigan University	9/1 9/8	12/24			X9/19		
	Hazel Rojas Garcia	33	Central America Autonomy U.	1/18	11/25-12/24					
	Oscar Romero Cruz	45	Costa Rica University	9/16	4/11-6/12					X3/20
	Rafael Antonio Quesada	35	"	9/1 9/8	12/24				X8/21	
	Glen Montes Varoas	35	National University	2/1 4/12-6/13				X6/15		
	Ricardo Umana Gomez	28	Costa Rica University	1/4	4/11-6/12	X11/25				
	Eladio Alberto Brenos	35	"		11/14	10/21-12/2				X3/20
	Anabolin Soto	33	"	1/4		10/21-12/2				
	Luis Longhi	27	Technical University	4/12		10/21-12/2				
Tany Lindo	32	Costa Rica University		2/16					11/5-12/6	
Marco Ulate	28	Technical University		3/1					11/5-12/6 X9/30	
Ricardo Esquivel	35	New Mexico University			8/21					
Ronald Leandro	30	Technical University			9/19				4/8-6/9	
Gregorio Arce	36	Open University		4/16						
Jose Arce Brenos	23	Costa Rica University			11/1					
Mariacela Arias	33	"							4/18-	
Padro Moreira	24	Technical University							4/14-	
Jose Raul Gutierrez	33	National University							4/21-	

Instructor	LAB (Physics)	Luis Enrique Gonzalez	36	Technical University	9/16	1/10	3/2
	LAB (Chemistry)	Roxana N. Montoya	32	Costa Rica University	8/3	2/22	4/29
	LAB (Textiles)	Marvin Herrera	30	"		4/4	11/5
	D P	Mauricio Garcia Hernandez	31	Technical University	9/1	12/24	X11/1
		Jorge Ulate Davila	44	Community College	8/16	9/8	12/24
		Maria Alfaro Ramirez	40	National University	1/18	11/8	3/23
		Marcelo Mesa Valverde	32	Costa Rica University	1/25	8/15	10/8
		Ariette Jimenez Silva	52	Technical University	3/22	8/15	9/28
		Emilia Maria Arias	31	Costa Rica University		11/14	6/5
		Fabian Obando Mathieu	27	"			7/26
Assistant	D P	Juan C. Alvarez	26	Tech. School in Electricity	1/4		1/15
		Berardo Gonzalez	27	Costa Rica University	1/4		X1/11
		Oscar Alvarado	23	Latin University		4/20	X9/8
		Gustavo Ruiz	21	"			8/19
		Evelyn Pacheco	24	Hesston college			11/11
		Sebastian Caval	31	Panamerican University		7/6	X7/14
		Roberto Quiroz	32	North Florida University		7/17	X8/25
		M ^o Rocio Avila	34	Panamerican University		9/28	5/9
		Allan Gimenez	27	Latin University			4/1
		Rosella Nova	28	Costa Rica University	7/1	1/24	X11/1
		Rosabeth Alfaro	24	"		2/1	X3/5
		Gabriela Gall	30	Food & Technology University		12/1	
		Maria Renevidis	23	Costa Rica University			3/5
	LAB (Textiles)	Maricel Rojas	36	"	7/1		1/16
	LAB (Physics)	William Ortiz	27	Alajuela College		11/1	3/16
		Israel Alvarado	19	Alajuela Tech. High School			5/10
							11/11

JICA